

微生物課

1. 微生物係

1) 試験検査業務

微生物係が平成6年度に実施した試験検査業務は、食品・生活衛生・環境関係事業計画に基づく食品細菌検査、生活衛生及び環境関係の細菌検査と、食中毒・苦情等の試験検査、その他一般依頼による各種細菌検査である。

当係の試験検査業務の検査件数を表1に示した。

表1 検査件数総括

区分	依頼別	計	行政依頼		一般依頼
			保健所	その他	
総計		4,287	3,394	885	8
食品	計	2,778	2,768	2	8
	食品	2,034	2,024	2*	8
	食中毒・苦情	744	744		
生活衛生	計	626	626		
	専用水道水	6	6		
	プール水	216	216		
	公衆浴場水	70	70		
	リネンサプライ等	63	63		
	ビル冷却水等	246	246		
環境	飲料水	25	25		
	計	883		883	
	河川水	464		464**	
	海水	140		140**	
	海水浴場水	151		151**	
	事業場排水	123		123**	
その他	5		5***		

\*市民局市民部 \*\*環境局環境保全部 \*\*\*下水道局河川部

表2 平成6年度 生活衛生・環境関係検査件数

区分	試料	検体数	検査項目						
			計	一般細菌数	大腸菌群	糞便性大腸菌群	ブドウ球菌	官能検査	レジオネラ
総計		1,504	1,724	94	1,107	151	63	63	246
生活衛生	計	626	846	94	380		63	63	246
	専用水道水	6	12	6	6				
	プール水	216	216		216				
	公衆浴場水	70	70		70				
	リネンサプライ等	63	252	63	63		63	63	
	ビル冷却水等	246	246						246
環境	飲料水	25	50	25	25				
	計	878	878		727	151			
	河川水	464	464		464				
	海水	140	140		140				
	海水浴場水	151	151			151			
事業場排水	123	123		123					

(1) 食品細菌収去検査

平成6年度に当係において実施した食品細菌収去検査の件数等を表3に示した。

(2) 食中毒・苦情細菌検査

当係で検査した細菌性食中毒および有症苦情は50事例、無症苦情は2事例であり、計744件の検査検体数であった(糞便及び吐物443, 患者由来菌株1, 食品112, ふきとり188)。

50事例の食中毒および有症苦情のうち、原因菌が特定できたものは14事例で、判明率28.0%であった。平成6年度も平成5年度に引き続き、サルモネラによるものが5件と多かったが、腸炎ビブリオも同数の5件の発生があった。またセレウス菌が3件、カンピロバクターが1件であった。

細菌性食中毒発生状況(厚生省報告例)を表4に示した。なお、検査依頼があった食中毒・有症苦情の細菌検査結果を表6に、無症苦情の細菌検査を表7に記載した。

(3) 生活衛生・環境関係細菌検査

保健所依頼のプール、公衆浴場、専用水道、おしほり等(リネン関係)、環境局環境保全部依頼の海水浴場、河川、海水、事業場排水等の細菌検査を表2に示した。

(4) 一般依頼検査(細菌検査分)

一般の食品等の依頼検査は表5に示すとおりであった。

2) 検査以外の業務

(1) 調査研究

生食用畜肉類のサルモネラ汚染状況とその原材料の除菌方法に関する調査研究を行った。その結果については、今年度の所報に投稿すると共に、別冊の調査研究報告書を作成した。

(2) 研修指導

新任の食品衛生監視員(8名)及び環境衛生監視員(7名)に対し、細菌検査技術研修を例年のごとく実施した(食品衛生監視員:平成7年1月9日~1月13日, 環境衛生監視員:平成7年2月28日~3月1日)。

またJICAからの依頼により、インドネシア環境管理センターの研究員(1名)に対し河川海水等の細菌検査法について研修を行った他、大型スーパーマーケット衛生検査室および民間検査機関等の職員に対して技術指導、助言を行った。

(3) 情報収集・解析・提供

「病原微生物検出情報」に毎月データを報告するとともに、そのデータをコンピューターのファイルとして保存した。

表3 平成6年度 食品細菌除去検査件数

試料	検体数	検査項目																その他							
		計	一般細菌数	大腸菌群	大腸菌	サルモネラ	腸炎ブリア	ブドウ球菌	ウェルシュ菌	セレウス菌	エルシニア	カンピロバクテ	コレラ	ボツリヌス	リステリア	カビ	酵母		乳酸菌	総菌数	嫌気性菌	無菌試験	緑膿菌	陽球菌	抗生物質
生乳	2,024	5,718	1,776	1,436	178	317	159	1,117	0	0	133	137	0	8	20	11	109	28	5	13	20	21	21	189	20
牛乳	25	41				4	4	4											5					24	
発酵乳	39	76	37	39														28						15	
乳酸菌飲料	28	56		28																					
バター	23	43		23																					
肉類	233	781	123	781				154				133		20				28						79	
ミンチ	35	139	35	139				33												6					
肉製品	94	192	94	192				92																	
身類	8	16	8	16																					
鮮魚介類	11	11		11																				11	
魚介類	41	82	41	82				41																	
加工品	92	276	92	276				92																	
めん類	98	196	98	196				98																	
練り製品	261	787	261	787				261																	
惣菜	313	944	313	944				313																	
洋菓子	146	468	146	468				146																	
生菓	22	50	22	50				4																	
凍結前	10	20	10	20				4																	
凍結前	113	339	113	339				113																	
めん類	64	134	64	134				64																	
腐類	90	180	90	180				90																	
イースト	65	223	65	223				65																	
漬物	17	52	17	52				17																	
野菜	38	76	38	76				38																	
飲料	21	84	21	84				21																	
果汁	20	40	20	40				20																	
包装食品	81	304	81	304				81																	
卵液	8	16	8	16				8																	
チニ	1	2	1	2				1																	
健康食品	1	2	1	2				1																	
飲料	7	31	7	31				7																	
真空包装食品	19	57	19	57				19																	
製粉	9	18	9	18				9																	
人乳																									

表4 平成6年度 細菌性食中毒発生状況（厚生省報告例，原因菌不明分は除く）

No	発生年月日	摂食者数	患者数	死者数	推定原因食品	原因物質(型別)	その他
1	H 6. 6. 5	37	24	0	仕出料理	<i>Salmonella</i> Typhimurium <i>Salmonella</i> Thompson	
2	7.22	6	6	0	焼き飯	セレウス菌	
3	7.29	不明	1	0	不明	腸炎ビブリオ	
4	8.14	9	9	0	焼き飯	セレウス菌	
5	8.15	17	12	0	法事料理	<i>Salmonella</i> Enteritidis	
6	8.18	不明	1	0	不明	<i>Salmonella</i> Typhimurium	
7	8.27	22<	22	0	集団給食	<i>Salmonella</i> Enteritidis	
8	8.31	19	8	0	刺身, にぎり寿司	腸炎ビブリオ(K4,8,12)	
9	9. 3	27	8	0	にぎり寿司	腸炎ビブリオ(K8)	
10	9. 4	6	6	0	刺身, にぎり寿司	腸炎ビブリオ(K7,41)	
11	10.23	3	1	0	不明	腸炎ビブリオ	
12	11.12	10	10	0	エビピラフ	セレウス菌	
13	11.25	541	336	0	集団給食	<i>Salmonella</i> Enteritidis	

表5 平成6年度 一般依頼検査件数

試料	検体数	検査項目												
		計	一般細菌数	大腸菌群	大腸菌	サルモネラ	腸炎ビブリオ	ブドウ球菌	ウエルシュ菌	セレウス	エルシニア	カンピロバクター	カビ・酵母	乳酸菌
計	8	16	8	8										
冷凍食品	1	2	1	1										
豆腐	7	14	7	7										

表6 平成6年度食中毒・有症苦情検査結果

No	保健所	受付日	飲食または購入施設	喫食者数	発症者数	潜伏時間	主 症 伏	原因と疑われた食品	検 体 (数)	推定原因菌	そ の 他
1	東	4/8	スーパーマーケット	1	1	約1時間	下痢, 腹痛	サンドイッチ	患者便(1)	不明	
2	博	4/18	飲食店	3	2	6~8時間	下痢, 嘔吐, 腹痛	そば	拭き取り(7), 参考食品(3)	不明	
3	南	4/25	飲食店	4	3	1~3時間	嘔吐	うどん定食	患者便(3), 拭き取り(9) 残品(1)	不明	
4	博	5/20	飲食店(弁当店)	1	1	30分	発熱	唐揚げ弁当	従業員便(3), 拭き取り(6)	不明	
5	早	5/28	飲食店	6	1	1時間	吐気, 腹痛	寿司	患者便(1), 参考食品(2)	不明	
6	南	5/30	魚介類販売店	2	2	7時間	下痢, 嘔吐	刺身	患者便(2), 拭き取り(7)	不明	
7	東	5/30	飲食店(弁当店)	1	1	9時間	腹痛	ビーフ弁当	残品(1)	不明	
8	博, 南	6/2	飲食店	1	1	30分	腹痛	高菜弁当	患者便(1), 残品(2)	不明	
9	西, 城	6/5	飲食店	35	23	18~70時間	下痢, 発熱, 腹痛	仕出し弁当	患者便(13), 従業員便(3) 拭き取り(6)	S.Typhimurium及び S.Thompson	
10	早	7/8	旅館: 北九州市	23	7	11時間	水様下痢	旅館の食事	患者便(1)	腸炎ビブリオ O:3,K:UT, O:5,K:UT	
11	東, 博	7/12	料亭: 飯塚市	?	18≦	19時間~	下痢	刺身等	患者便(3)	腸炎ビブリオO:5,K:UT	
12	南	7/15	中華料理店	3	3	1.5時間	嘔吐, 下痢	焼き飯, 皿うどん	患者便(3), 拭き取り(11) 参考食品(2)	不明	患者からはセレウス菌検出
13	博	7/22	中華料理店	5	5	1時間	嘔吐	焼き飯	患者便(5), 吐物(2) 残物(4), 拭き取り(10)	セレウス菌	吐物, 残物から10 <sup>5</sup> ~10 <sup>8</sup> /g のセレウス菌を検出
14	博	7/22	飲食店	不明	1	6時間	下痢, 嘔吐, 発熱	ネギトロ丼	参考食品(1), 拭き取り(6)	不明	
15	早	8/1	コンビニ	1	1	1.5時間	嘔吐, 下痢	焼肉, 焼きそば	患者便(1)	不明	
16	城, 早	8/17	中華料理店	4	3	1時間	嘔吐, 下痢	焼き飯	患者便(3), 従業員便(1) 拭き取り(8), 参考食品(3)	セレウス菌	拭き取りや参考食品から 多量のセレウス菌を検出
17	東	8/23	飲食店(弁当店)	2	2	1.5時間	下痢	アメリカンドッグ	患者便(2), 残品(2) 参考食品(1)	不明	
18	東, 博 中	8/24	飲食店	6	6	7時間~	下痢	刺身等	患者便(6), 従業員便(2) 拭き取り(5)	不明	
19	東, 南 中	8/17	家庭	17	12	8時間~	下痢, 発熱	卵とじ料理	患者便(12), 残物(7) 拭き取り(3)	S.Enteritidis(PT1)	残物の卵料理から S.Enteritidisを検出
20	早	8/29	介護施設	約100	14<	不明	下痢, 発熱	不明	患者便(11), 検便(5) 食品(15), 拭き取り(4)	S.Enteritidis(PT1)	
21	西	8/30	飲食店(県外)	1,100	112	不明	下痢, 腹痛	不明	患者便(1)	不明	
22	中	9/2	飲食店(和食) No.18と 同一施設	19	8	3時間~	下痢, 腹痛, 嘔吐	刺身, 寿司	患者便(8), 検便(11) 拭き取り(5), 参考食品(1)	腸炎ビブリオ K4, 8, 12混合感染	

No	保健所	受付日	喫食または 購入施設	喫食者 数	発症者 数	潜伏時間	主 症 伏	原因と疑わ れた食品	検 体 (数)	推定原因菌	そ の 他
23	博,早 南	9/5	飲食店 (和食) No.18と 同一施設	26	8	24時間	下痢,腹痛	刺身	患者便(7),検便(9) 拭き取り(4),イケスの水(1)	腸炎ビブリオK8	イケスの水から腸炎 ビブリオK12を検出
24	東	9/5	寿司屋	6	6	8~20時間	下痢	刺身,寿司	患者便(7),拭き取り(7) 食品(1),イケスの水(2)	腸炎ビブリオ K7,41混合感染	
25	早	9/13	飲食店	2	1	7時間	下痢,腹痛	パーコメン (中華メン)	参考食品(6),拭き取り(3)	不明	
26	城	9/13	スーパー	1	1	4時間	下痢	牛乳	患者便(1),残品(1) 参考食品(1)	不明	
27	西	9/16	おみやげ屋	2	2	1.5時間	下痢,腹痛	カニ漬け	患者便(1),残品(1)	不明	
28	東	9/28	ホテル (県外)	26	23	24~48時間	腹痛,嘔吐	不明	患者便(1)	不明	兵庫県では,腸炎ビブリオK4, EPEC 01,086を検出
29	西	10/6	飲食店 (市外)	190	47	5時間	嘔吐	サンドイッチ	患者便(42),残品(1)	不明	患者便の4割と残品から 共通してコ型II,ET 不明のブ菌が検出され たが,原因とするには 明確な根拠がなかった
30	西	10/7	スーパー	1	1	4時間	下痢,腹痛	生ウニ,イカの刺身	患者便(1),参考品(2)	不明	
31	東	10/14	大学生 協食堂	3<	3	11~21時間	下痢,発熱,嘔吐	牛丼(生卵かけ)	患者便(1),従業員便(36)	不明	患者2名から病院の検 査でS.ParatyphiCと O4群サルモネラ菌を検 出したが,両者の菌型 が一致せず,原因施設 の特定ができなかった
32	西	10/16	寿司屋	4	1	30分	喉の痒み,下痢	寿司	患者便(1),残品(3) 参考食品(1)	不明	残品からはヒスタミン 産生菌は不検出
33	城	10/20	海外旅行 (バリ島)	12	7	不明	下痢等	不明	患者便(2)	不明	1名からEPEC(086a: H-)を検出,病院での 検査でS.Enteritidis を検出した
34	中	10/26	寿司屋	3	3	12時間	下痢	にぎり寿司	菌株(1),拭き取り(8)		菌株は腸炎ビブリオ (K12,TDH+)
35	博	11/7	惣菜屋	2	2	9時間	下痢,嘔吐	天ぷら蒲鉾	参考食品(2)	不明	
36	中	11/7	飲食店	3	3	2.5時間	吐気,嘔吐	鳥コース料理 (水炊き,鳥刺し)	患者便(3),従業員(2) 拭き取り(3)	不明	患者1名からC.jejuni を検出したが,症状と の因果関係は不明
37	博,早	11/8	鳥料理店	2	2	3日	下痢,腹痛	鳥コース料理	患者便(2),拭き取り(9) 残物(3)	カンピロバクター(Y群)	残物からも同血清型の カンピロバクターを検 出
38	東	11/15	飲食店 (県外)	?	9	?	嘔吐,下痢	?	患者便(2)		堺市で,患者及び残物 から黄色ブドウ球菌 (ET-A)を検出
39	中	11/14	社員食堂	10	10	1時間	嘔吐	エビピラフ	患者便(10),従業員便(1) 拭き取り(5),残物及び 参考食品(5)	セレウス菌	
40	中	11/16	旅館 (県外)	55	14	24時間	下痢,腹痛	旅館の食事	患者便(2)	S.Enteritidis(PT1)	

No.	保健所	受付日	喫食または購入施設	喫食者数	発症者数	潜伏時間	主 症 伏	原因と疑われた食品	検 体 (数)	推定原因菌	そ の 他
41	博	11/21	飲食店	1	1	3時間	嘔吐, 発熱, 下痢	寿司	患者便(1), 参考食品(3) 拭き取り(2)	不明	
42	中	11/28	飲食店	?	5?	?	下痢, 発熱	バイキング料理	従業員便(13) 拭き取り(18)	不明	病院の検査では1名から09群のサルモネラを検出
43	中	11/30	飲食店	78	12	1~2時間	下痢	寄せ鍋, 刺身	患者便(12), 従業員便(4) 拭き取り(9), 参考品(9)	不明	
44	早	11/29	小学校給食	524	約230	1日~	下痢, 発熱	卵サンド	患者便(40), 従業員便(13) 拭き取り(19), 参考品(6)	S.Enteritidis(PT1)	従業員由来のSEは, PTが型別不能
45	東, 中	12/13	飲食店	3	2	4~10時間	嘔吐, 吐気	一品料理各種	患者便(2), 従業員便(4) 拭き取り(6), 残物(1)	不明	
46	南	12/13	ファーストフード店	8	3	5.5時間~	嘔吐	フライドチキン	残物(1), 参考品(3)	不明	
47	城	2/25	修学旅行	336	約200	?	嘔吐, 吐気	?	患者便(13), 吐物(1)	不明	
48	博, 南	3/3	中学校給食	751	64	4時間~	吐気, 腹痛, 下痢	給食	患者便(19), 検便(3) 拭き取り(5), 従業員便(8)	不明	
49	中	3/9	寿司屋	2	1	?	吐気	寿司	苦情のにぎり寿司		ネタの表面, ネタと寿司飯の間にハンドクリームが塗布してあった
50	博	3/9	旅館(県外)	16	6	19~48時間	嘔吐, 下痢	旅館の食事?	患者便(4)	不明	

表7 平成6年度無症苦情検査結果

No.	保健所	受付日	苦 情 品	状 況	結 果
1	西	5/12	きんぴら	シンナー臭がする	酵母( <i>Hanseniaspora uvarum</i> )の増殖 ( $3.6 \times 10^8 / g$ ) による酢酸エチル, エタノールの生成
2	東	5/25	ウズラのゆで卵	卵の白身に黒い斑点が発生	不完全菌類の増殖
3	西	7/1	カニ缶	異臭がする	不明
4	城	7/4	サトイモ	異臭がする	不明
5	西	7/22	キンチャク(惣菜)	カビ様のものが発生	キンチャク内部の卵白が凝固して付着したもの
6	中	8/16	牛乳	苦みがする	セレウス菌の増殖 (約 $10^7 / ml$ ) による苦みの発生
7	中	12/15	サンフラワーナッツ	苦みがする	不明

## 2. 臨床検査係

臨床検査係が平成6年度に実施した試験検査業務は腸内細菌検査、梅毒等血清検査、結核菌検査、井戸水等飲料水細菌検査、ダニ等の衛生害虫検査及び保健所外来検査（出向）である。試験検査業務と検査件数を表1に示した。以下事項別に述べる。

### 1) 腸内細菌検査

腸内細菌検査は45,075件で内訳は、健康診断等の一般依頼2,551件、食品取扱い従事者等を対象にした勧奨検便41,691件、赤痢、チフス、コレラ等の防疫検便833件であった。

表2に病原微生物検出状況を示した。勧奨検便およびバリ島ツアーで発生した赤痢の同行者それぞれ1名から*S.sonnei*を、またバリ島ツアーで発生したコレラの同行者1名からコレラ菌を検出した。勧奨検便で赤痢が検出された事例は検査時には症状等はなかったが、検査の3週間前ネパールに旅行していた。

また、サルモネラの検出数は昨年度に引き続き多く49株（依頼検査40株、行政検査9株）検出された。これら49株に医療機関等から同定を依頼されたサルモネラ27株を加えた76株の血清型別を表3に示した。最も多かった血清型は昨年度に引き続き*S.Enteritidis*で、次いで*S.Anatum*が多かった。

表4に平成6年度に実施した法定伝染病関係検査833件のうち経過者検便25件を除いた45事例808件の概要と検査結果を示した。45事例のうち福岡市内で真性患

表1 検査件数総括表

区分	計	保健所	
		依頼	行政
計	58,605	57,539	1,066
細菌・血清			
小計	52,941	51,875	1,066
腸内細菌	45,075	44,242	833
その他の細菌	0	0	0
結核菌	40	0	40
原虫・寄生虫	0	0	0
衛生害虫(ダニ)	119	0	119
梅毒血清反応	460	388	72
飲料水細菌検査	7,247	7,245	2
保健所検査			
小計	5,664	5,664	
尿			
一般検査	4,855	4,855	
沈渣	60	60	
細菌塗抹	0	0	
便			
寄生虫	140	140	
潜血反応	8	8	
血			
血球計	180	180	
血色素	255	255	
全血比重	3	3	
血液			
ABO式血液型	117	117	
Rh式血液型	46	46	

者が発生したのは15事例で、内訳は細菌性赤痢9事例(*S.sonnei* 6事例 *S.flexneri* 1b, 2aおよび不明各1事例)、腸チフス1事例、コレラ5事例であった。このうちコレラ4事例は、バリ島旅行者にコレラが多数発生し全国的に問題となった平成7年2月に発生しており、3事例はバリ島旅行者であったが1事例は本人および家族等に海外旅行歴のない国内感染事例であった。また、この時期に医療機関等から8株のコレラ菌同定依頼があり、いずれもエルトール小川型コレラ菌と同定した。

届出のあった腸チフス菌2株のファージ型別を依頼した結果は両者ともM1であった。

表3 サルモネラの血清型別

血清型	依頼検査	行政検査	同定依頼	計
0 4				
eh:1,2 S.Saintpaul	1		1	2
eh:1,5 S.Reading	1			1
fg:- S.Derby			2	2
i:1,2 S.Typhimurium	1		4	5
Lv:en,z16 S.Brandenburg	1		1	2
0 7				
d:1,5 S.Isangi	2	1(1)		3(1)
K:1,5 S.Thompson	4*		1	5
r:1,2 S.Virchow		1(1)		1(1)
r:1,5 S.Infantis	4		1	5
z28:- S.Tennessee	2			2
0 8				
d:1,5 S.Manhattan			1	1
i:z6 S.Kentucky	1			1
K:1,5 S.Blockly		1(1)		1(1)
Lv:1,2 S.Pakistan	1			1
Lv:1,2 S.Litchfield			2	2
z10:en,x z4,z23:- S.Hadar		3(3)		3(3)
S.不明	2		1	3
0 9				
d:- S.Typhi			2	2
gm:- S.Enteritidis	9	2(2)	10	21(2)
L,z28:1,5 S.Javiana		1(1)		1(1)
0 9, 4 6				
z28:- S.Ouakam		1(1)		1(1)
0 3, 1 0				
eh:1,6 S.Anatum	7			7
Lv:1,6 S.London			1	1
y:1,2 S.Amager	1			1
0 1 3				
i:L,w S.Kedougou	1			1
0 不明				
r:1,5 S.不明	1			1

( ) 海外旅行者再掲, \* は同一人より2回検出を含む

表2 腸内病原微生物検出状況

区 分	検査件数	陽性件数	コレラ	赤痢	サルモネラ								カンピロバクター	EIEC	ETEC	EPEC
					04	07	08	09	09,46	03,10	013	OUT				
総 計	45,075(246)	112(73)	1(1)	2(1)	4	14(2)	8(4)	12(3)	1(1)	8	1	1	4(4)	1(1)	28(28)	44(44)
依 頼	小 計	44,242	41(2)		1	4	12	4	9	1(1)	8	1				1(1)
	一 般 勸 奨	2,551	4(2)				2*			1(1)						1(1)
行 政	小 計	833(246)	71(71)	1(1)	1(1)	2(2)	4(4)	3(3)					4(4)	1(1)	28(28)	43(43)
	コ レ ラ	432(38)	9(9)**	1(1)		1(1)	1(1)						1(1)		1(1)	7(7)
	チ フ ス	11														
	パ ラ チ フ ス															
	赤 痢	310(153)	48(48)**		1(1)			3(3)	3(3)				1(1)		19(19)	26(26)
海 外 旅 行 者 経 過 者	55(55)	14(14)**				1(1)						2(2)	1(1)	8(8)	10(10)	
	25															

( ) 海外旅行者再掲, \* 1 同一人より2回検出例  
\* 2 複数菌検出例を含む

表4 行政依頼検査概要

受付日	区 分	概 要	検 査 結 果
1994. 4.15	真 性 赤 痢	博多区の28歳の男性が社員研修として4月3日から10日までマレーシア山中で訓練を受けた。7日より下痢、腹痛があり、14日粘血便出現、感染症センター受診、15日S.sonnei検出。	家族1名(-) 同僚6名(-)
5. 4	真 性 赤 痢	早良区の26歳の女性が、4月24日から5月1日までインドに旅行。4月30日より下痢、嘔吐があり帰国時に検疫所で検査したが陰性であった。5月2日近医を経て感染症センターに入院、4日S.flexneri 1bおよびカンピロバクターが検出された。	家族4名(-) 同行者1名(-)
5.11	真 性 赤 痢	西区の24歳の女性が5月4日から8日までタイ(バンコク、プーケット)に旅行。6日下痢出現、7日水様下痢および微熱あり、現地で受診し抗生物質を投与された。帰国時検査でS.sonneiが検出された。	同行者9名中 1名よりEPEC(0128H4)および (0128H12)検出、8名(-)
5.27	真 性 赤 痢	甘木市の24歳の女性が、5月20日から24日までシンガポールに旅行。S.sonneiが検出された。	同行者1名(-)
6.20	真 性 赤 痢	6月9日から15日までのメキシコツアーに参加した香川県の50歳の男性が、13日発症し15日受診、18日S.boydii 2検出の連絡。	同行者9名中1名からETEC(ST+, LT+, 06H16)、1名からETEC(LT+, OUT H9)、1名からETEC(LT+, SeroUT)、1名からETEC(ST+, 027 H20)それぞれ検出、5名(-)
6.21	海 外 旅 行 者	東区の27歳の女性が、6月15日から19日までタイに旅行。旅行前からの下痢のため、17日売薬を服用したが18、19日水様下痢、以降軟便が続いている。	本人(-)
7.19	海 外 旅 行 者	東区の32歳の男性と26歳の女性が7月8日から17日までインド、18日から19日までシンガポールに旅行。17日から水様下痢が続いており、男性は18日以降微熱も続いている。	男性からETEC(ST+, LT+, 0148 H28)検出 女性(-)
7.22	海 外 旅 行 者	東区の学生2名が7月15日から20日までバリ島に旅行。1名が18日より水様下痢、1名が19日より軟便があり、売薬を服用したが治らない。	海外旅行者2名(-)
8. 3	海 外 旅 行 者	東区の47歳の男性が7月24日から31日までフィリピンに旅行、27日以降軟便が続いている。	本人(-)



受付日	区分	概要	検査結果
8.19	真性コレラ	南区の35歳の男性が8月6日から17日までベトナムに旅行。10日から16日まで水様下痢、18日まで軟便が続いた。帰国時検査で19日要観察、20日エルトル小川型コレラ菌と確定の連絡があった。	本人（－） 接触者32名（－） 同乗者1名（－）
8.23	海外旅行者	博多区の40歳の女性が7月31日から8月21日までネパールに旅行。20日夜多量に嘔吐し、腹痛、水様下痢が22日まで、以降軟便が続いている。	本人（－）
8.23	真性赤痢	東京都大田区の女性が8月13日から20日までインド経由でケニアに旅行、23日S.sonnei検出。	同行者1名（－）
9.29	海外旅行者	9月17日から19日までの香港ツアー参加者多数が下痢を訴え医療機関を受診した。	同行者24名中1名からEPEC (01 H-). 1名からETEC (ST+, 0169 H41), 1名からETEC (ST+, 0169 H41) およびEPEC (0119 HUT), 1名からETEC (ST+, 0169 H41) およびEPEC (018 H7), 2名からETEC (ST+, LT+, 06 H 16)検出, 18名（－）
10. 6	真性赤痢	京都市の24歳の男性が9月28日から10月3日までバリ島に旅行、帰国時検査で10月5日S.sonneiが検出	同行者3名中1名からS.Enteritidis 検出, 2名（－）
10.17	真性赤痢	浮羽郡の26歳の男性が、9月28日から10月5日までインド旅行後真性赤痢の連絡。	同行者1名（－）
11. 8	真性赤痢	中央区の37歳の女性が11月1日から6日までバリ島に旅行し4日から下痢、帰国時検査、8日S.sonnei検出	同行者2名（－） 患者家族3名（－） 接触者4名（－）
11.10	真性赤痢	西区の79歳の女性からS.flexneriが検出され、看病をしていた50歳の女性も疑似赤痢と診断された	患者家族2名（－） 接触者1名（－）
11.17	真性赤痢	福岡市内の建築会社が2グループ（1群が11月7日から10日まで2群が14日から17日まで）に分かれてインドネシア（バリ島）に旅行。1群の34歳の男性が倦怠感があり11日受診。13日夜発熱、下痢出現、14日再度受診、検便、投薬を受け、17日S.sonneiが検出された。 接触者等を検査したところ、同行者1名から同菌を、またその他多数から腸管系病原菌を検出した。なお、両グループは日程が異なるのみで、宿泊、観光等はすべて同一コースのため同行者として処理した。	同行者121名のべ208件中 1名からS.sonneiおよびEPEC (0157 H-) 1名からC.jejuniおよびEPEC (0127a H41) 1名からETEC (ST+, 0169 H41) およびEPEC (ST+, 0126 H12) 1名からETEC (LT+, 025 H-) およびEPEC (0119 H4) 3名のべ4件からサルモネラ08群 (S.Hadar) 1名からサルモネラ09群 (S.Javiana) 1名からサルモネラ09群 (S.Enteritidis) 5名からETEC (LT+, 025 H-) 2名からETEC (ST+, 0126 H12) 2名からETEC (ST+, 027 H7) 1名からETEC (ST+, 0169 H41) 2名からETEC (LT+, SeroUT) 3名からEPEC (0128 H-) 2名からEPEC (01 H-) 3名からEPEC (0128 H20) 2名からEPEC (018 H7) 2名からEPEC (0128 HUT) 2名からEPEC (0166 HUT) EPEC (01 H12), 同 (0111 H21), 同(0128 H10), 同(0128 H17), 同(0157 H4), 同(0157 HUT)をそれぞれ1名から検出 80名のべ166件（－）, 接触者17名（－）
11.29	海外旅行者	東区の女性2名が11月21日から27日までインドネシアに旅行。24日から軟便があり1名は29日現在も軟便が続いている。	海外旅行者2名中 1名からサルモネラ07群 (S.Isangi), EPEC (0128 HUT) およびEPEC (044 H18), 1名からC.jejuni, EP EC (0128 H20) およびETEC (ST +, 0148 H28) 検出
11.29	海外旅行者	東区の男性4名が、11月18日から23日までマレーシア旅行後有症のため相談。	海外旅行者4名（－）

受付日	区分	概要	検査結果
12.19	海外旅行者	コレラ汚染地域からの不法入国者検査依頼。	海外旅行者2名(-)
12.19	海外旅行者	東区の24歳の女性が12月11日から19日までインド、ネパールに旅行。15日より発熱、下痢、腹痛、嘔気あり	本人からC.jejuni検出
12.19	真性チフス	博多区の71歳の女性が2～3年前より胆石による疼痛があり、10月21日総合病院受診し12月9日摘出手術を受けた。15日術中の胆汁よりS.Typhi検出。	本人(退院後)のべ3件(-) 家族2名(-)
1995. 1. 6	真性赤痢	早良区の海外旅行歴のない60歳の女性が、1月2日未明より水様下痢、腹痛出現、同日夜、粘血便(20回/day)となったため、4日近医受診した。4日夜下痢は消失したが6日S.flexneri 2aが検出された	家族1名(-) 接触者2名(-)
1.10	真性赤痢	12月26日から1月4日までのペルーツアーに参加した東京都の男性が真性赤痢の連絡(S.sonnei)	同行者1名(-)
1.27	真性赤痢	1月13日甘木市の2歳男児が真性赤痢の連絡。発症前、福岡市内のA一家がペットの輸入サル('94,6より飼育)を連れて遊びにきており、調査依頼があった。A一家は9日より発熱等で受診、インフルエンザの診断で全員抗生物質を服用していた。	接触者(A一家)4名(-) ペット(サル)1匹(-)
1.27	真性赤痢	1月25日の勸奨検便にて、27日学校保健員より赤痢様菌株を検出、疑似赤痢として収容。28日S.sonneiと決定した。当初患者は症状や感染の心当たりは無いと言っていたがその後の調査によると12月29日から1月6日までネパールに旅行していた。	家族1名のべ2件(-) 同僚(学校保健員)5名のべ10件(-) ネパールツアー添乗員1名(-) 接触者7名(-)
2.15	真性コレラ	2月9日から13日までのバリ島ツアーに参加した会社員のうち数名が12日から水様下痢を訴え、14日感染症センターを受診した。15日、3名の便培養からコレラ様コロニーが認められ、当所に搬入された。これらのコロニーは抗O1血清に凝集(a,b小川型)し、CT遺伝子(+)であったため、同日疑似コレラとして届け出られた。同行者を検査したところ16日さらに1名から同菌が検出され、いずれもエルトル小川型コレラ菌と同定された。	同行者4名のべ12件中1件からエルトル小川型コレラ菌検出、11件(-) 患者家族11名のべ48件(-) 同僚169件(-)
2.17	真性コレラ	中央区に勤務する61歳の男性が2月7日から水様下痢があり8日近医受診。15日民間検査センターより当所にこの患者から検出したコレラ様菌株の同定依頼があり、検査したところコレラ菌AD(a,b+), CT遺伝子(+)であった。この結果を受け16日医療機関より疑似コレラの届け出、福岡県にて真性と決定した。患者および家族等の海外旅行歴無し。	同僚78名(-)
2.17	海外旅行者	東区の22歳の男性が2月2日から13日までバリ、シンガポール、ジャカルタに旅行。2,3日下痢があり売薬服用、14,15日再度下痢があった。	本人よりEIEC(OUT,H-)およびETEC(ST+LT+,06 H16)検出
2.20	海外旅行者	東区の30歳の男性と29歳の女性が、2月13日から19日までバリ島に旅行、水様下痢があり服薬した。	海外旅行者2名(-)
2.21	海外旅行者	博多区の46歳の男性が、2月12日から16日のバリ島ツアーに参加。現地で行方不明でコレラ様症状で入院し、本人も19日水様下痢症状があった。	海外旅行者2名中1名からEPEC(0125 H4)検出、1名(-)
2.21	真性コレラ	東区の48歳の男性が2月12日から16日までバリ島に旅行。15日夜から下痢があり売薬を服用したが帰国後も10数回の下痢が続くため17日受診。21日当所に民間検査センターよりこの患者から検出したコレラ様菌株の同定依頼があった。検査の結果コレラ菌AD(a,b+), CT遺伝子(+)で、同日疑似コレラとして届け出があり、23日真性と決定した。	同行者15名のべ41件中1名(件)よりサルモネラ08群(S.Blockley)およびC.jejuni検出 3名(件)よりそれぞれEPEC(018H42), (01H7), (0146HUT)検出、37件(-) 患者家族4名のべ16件(-) 同僚7名(-)
2.24	海外旅行者	博多区の33歳の男性と27歳の女性が、2月19日から23日までバリ島に旅行、腹痛や軟便の症状があった。	海外旅行者2名中1名からEPEC(018 H-)1名からEPEC(01 H7)と(0126 H42)検出

受付日	区分	概要	検査結果
2.24	真性コレラ	2月19日から23日のバリ島ツアーに参加した大学生1名が、24日帰国時検査で疑似コレラと診断された。(後日真性となった)一方、同じ航空機で帰国した早良区の73歳の女性は23日帰宅後、水様下痢が4～5回あったので24日受診、検便をしていた。28日保健所から受診医療機関に結果を問い合わせたところ、民間検査センターからNAGビブリオ検出の報告を受けていた。3月1日この菌株を当所で調べたところコレラ菌AD(a,b+), CT遺伝子(+)でこの女性も疑似コレラとして収容、2日真性と決定した。	同行者13名のべ19件中1名(件)からサルモネラ07群(S.Virchow)およびETEC(ST+, UT), 1名からEPEC(0146 HUT), 1名からEPEC(086a H10)および(0157 H4), 1名からEPEC(0157 H4)をそれぞれ検出15件(-) 同乗者4名(-) 患者家族4名(-)
2.27	海外旅行者	2月19日から26日のバリ島ツアーに参加。症状はないが、食品関係に従事しているので心配。	海外旅行者2名(-)
3.1	海外旅行者	2月13日から18日バリ島に旅行。食品関係に従事しているため念のために調べてほしい。	海外旅行者2名(-)
3.9	海外旅行者	東区の51歳の男性が、2月24日から28日までシンガポールに旅行。3月7日から9日にかけて1日4～5回水様下痢があり、8日、9日に2医療機関受診後相談	本人(-)
3.15	海外旅行者	東区の59歳の女性が3月8日から15日までメキシコに旅行。14日から水様下痢。	本人(-)
3.23	真性チフス	粕屋郡の55歳の女性が3月13日頃から発熱のため近医受診。20日肝障害もあるため福岡市内の総合病院に入院。23日血液培養からサルモネラが検出され当所に同定依頼。23日当所にてS.Typhi決定。	患者家族1名(-) 接触者4名(-)
3.23	真性赤痢	八女市の73歳の男性が3月8日から15日のメキシコツアーに参加。15日発病、受診、20日S.flexneri検出。同行者の調査で1名が疑似赤痢と診断された。	同行者1名からEPEC(0126,H-)検出 接触者1名(-)
3.23	海外旅行者	東区の22歳の男性が2月12日から3月22日までインド、タイに旅行。3月12日から水様下痢が続き、売薬を服用した。	本人(-)
3.24	海外旅行者	西区の24歳の男性が、3月13日から19日までオーストラリアに旅行、軟便があった。	本人(-)
3.31	真性赤痢	南区の34歳の女性が3月5日から29日までインドに旅行。17日より頻回の下痢、発熱あり、検疫所にてS.sonneiが検出された。また、同一航空機で帰国した西区の27歳の女性も3月22日から29日インドに旅行、28日から水様下痢、腹痛があり検疫所でS.sonneiが検出された。	同行者3名(-) 患者家族4名のべ6件(-) *(このうち家族1名のべ2件は4月以降依頼分)

## 2) 赤痢アメーバ検査

平成6年度は赤痢アメーバ症検査依頼はなかった。

## 3) 梅毒検査

梅毒血清反応は460件の検査を実施した。その内訳は一般依頼388件、行政依頼は婚姻68件、医療扶助2件、妊婦1件、減免1件であった。

検査法はTPHA法、ガラス板法、及び凝集法を同時に実施し、必要に応じてFTA-ABS法を実施した。

陽性件数は9件で高齢者が多かった。

## 4) 結核菌検査

7保健所より依頼のあった40件の結核菌検査を実施した。塗抹検査での陽性はなかったが、培養検査で人型結核菌および非定型抗酸菌各1株を分離した。

## 5) 飲料水の細菌検査

飲料水の検査は、井戸水5,970件(行政取去2件を含む)、浄水1,139件、その他138件であり、井戸水の依頼検査は一般家庭とボーリング業者からの依頼及び下水工事のための事前調査等の依頼で、浄水の依頼検査は主として「建築物における衛生の確保に関する法律」に基づくものである。

平成6年度は濁水による給水制限が実施されたため井戸水の検査依頼が多かった。

## 6) 衛生害虫検査

平成6年度の衛生害虫の検査依頼は109件あり、各保健所からの依頼状況及び依頼の内容について表5、6に、その結果を表7、8に示す。今回は、前年度とその趣が多少異なっており、苦情相談として提出された検体、表

7と、調査目的として提出された検体、表8とがほぼ同数であった。これは生活衛生課、及び福岡市市民福祉サービス公社の協力の基に、在宅老人の住居を検査対象としたものである。

今年度の検査結果について苦情相談と調査目的とを比較してみると、調査目的として検査した検体については、出現しているダニの種類やその数に何ら統一性もみられない。又検査対象としての細塵量と、出現するダニの総数についても何らの相関性も見られない。これに比して苦情相談として検査した検体については、細塵量と出現するダニ総数については調査目的の検体と同様であるが、

出現するダニの種類については、平成4年度版の福岡市衛生試験所報でも述べたようにやはり前気門亜目のツメダニ科に属する種が、確認されている。人体を刺咬し吸血する事が知られている中気門亜目のダニ類の出現があまり見られなくなった昨今、室内塵において直接の刺咬及び搔痒感を与えるダニ類として、前気門目に属するダニ類が対象となるのかもしれない。

### 7) 保健所外来検査

7 保健所へ一般健康診断のために出向し、1名で尿、血液検査等を実施し、件数は5,664件であった。

表5 保健所別依頼状況

	東	博多	中央	南	城南	早良	西	本庁
検体数(フィルター)	12	2	8	1	26	9	0	51
家屋数	4	1	3	1	10	3	0	51
フィルター/1家屋	3	2	2.6	1	2.6	3	0	1

表6 検体別依頼状況

	苦情相談	調査目的
検体数(フィルター)	58	51
家屋数	22	51
フィルター/1家屋	2.6	1.0

表7 衛生害虫検査概要(苦情相談)

採取年月日	依頼人の環境	件数	検体別概要	結果		
1994. 4. 5	新築木造一戸建て住宅 二階建て 家族数5人 うち小学生以下2人 ベットはいない 採取場所は1階和室 室内は南向き 日当たりよく 湿度は普通	2	1: 1階和室 1.6㎡を5分吸引	コナヒョウヒダニ 2exs チャノヒメハダニ 1exs	ケナガコナダニ 1exs 中気門亜目 1exs	
			2: 1階和室 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs ホコリダニ科 4exs	カザリヒワダニ 1exs	
4. 22	築後9年鉄骨集合住宅12階建ての10階 家族数6人 うち小学生以下2人 ベットはなし 本人(56才・♂)と小人2名に症状有り 小人2名はアトピーの可能性有り 何れの採取場所も日当たりよく 湿度は普通 No.3 以外は常時使用	4	1: 和室の敷物(コタツの下敷) 4㎡を5分吸引	チリダニ科 4exs	オソアシブコナダニ 1exs	
			2: 洋室敷物(敷き詰め絨毯) 2㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 10exs マメタンツメダニ 1exs	コナヒョウヒダニ 11exs ヒポプス 1exs	
			3: 洋室(寝室のベッド) 1.96㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs	コナダニ科 1exs	
			4: 和室(子供部屋)2段ベッドの下 1.44㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 1exs	コナヒョウヒダニ 2exs	
5. 30	築後6年鉄骨集合住宅8F 住居は3階 家族数4人 うち小学生以下2名 ベットなし 家族全員に健康被害有り	4	1: 洋室寝室(敷物) 日当たり悪い 湿度多い 常時使用 9.6㎡を18分吸引	ヤケヒョウヒダニ 15exs イエササラダニ 1exs テングダニ科orオソイダニ科	コナヒョウヒダニ 14exs ホコリダニ科 3exs 1exs	
			2: 和室寝室(畳) 日当たり悪い 湿度は普通 常時使用 9.6㎡を18分吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs イエササラダニ 2exs	コナヒョウヒダニ 3exs	
			3: 和室寝室(畳) 日当たりよく 湿度少ない 常時使用 9.6㎡を18分吸引	ヤケヒョウヒダニ 5exs イエササラダニ 5exs 中気門亜目 1exs	ケナガコナダニ 2exs ブドウヒメハダニ 1exs	
			4: 洋室居間(敷物) 日当たりよく 湿度は少い 常時使用 22.4㎡を30分吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs ホコリダニ科 2exs 無気門亜目 1exs	ケナガコナダニ 1exs ツメダニ科 1exs	
5. 30	築後15年 木造一戸建て 家族数2人 ベットは無し 主訴は虫刺され		1: 和室居間(電気カーペット) 日当たりよく 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 21exs イエマルニクダニ 18exs イエササラダニ 1exs ミジンイレコダニ 5exs	コナヒョウヒダニ 9exs ホソツメダニ 2exs カザリヒワダニ 1exs ホコリダニ科 27exs	

採取年月日	依頼人の環境	件数	検体別概要	結 果		
		3	2 : 和室居間 (畳) 日当たりよく 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 28exs コナヒョウヒダニ 87exs イエマルニクダニ 35exs イエササラダニ 2exs ホコリダニ科 23exs	ミジンイレコダニ 20exs ツメダニ科 3exs イエニクダニ 1exs カザリヒワダニ 2exs テングダニ科 1exs	
			3 : 和室客間 (敷物: 絨毯) 日当たりよく 湿度は普通 常時使用	ヤケヒョウヒダニ 8exs イエマルニクダニ 3exs イエササラダニ 1exs	コナヒョウヒダニ 44exs ミジンイレコダニ 4exs ホコリダニ科 21exs	
6. 9	築後8年 鉄骨一戸建て 家族数3人 ペットは室外で犬一匹 主訴は虫刺され, (家族3人共) 薬剤散布するも効果なし	1	1 : 掃除機のごみのため 採取場所の特定は不 能	コナヒョウヒダニ 94exs ホコリダニ科 6exs マサヒトセンロダニ 2exs 中気門亜目 7exs	イエササラダニ 5exs ニクダニ科 3exs カザリヒワダニ 4exs	
7. 5	築後2年 鉄骨一戸建て 家族数2人 ペットはいない 床下が湿気ている	2	1 : 和室寝室 (畳: 天然) 日当たり悪い 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 9exs ミナミツメダニ 125exs イエササラダニ 26exs イエマルニクダニ 1exs ハダニ科 1exs	コナヒョウヒダニ 20exs シワダニ 1exs カザリヒワダニ 3exs ホコリダニ科 13exs ヒボプス 1exs	
			2 : 和室客間 (畳: 天然) 日当たり悪い 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 13exs ミナミツメダニ 127exs イエササラダニ 118exs ブドウヒメハダニ 1exs ハダニ科 5exs	コナヒョウヒダニ 8exs ケナガコナダニ 1exs カザリヒワダニ 11exs ホコリダニ科 11exs	
7.11	築後10年 木造一戸建て 家族数4人 室外で犬を一匹飼っている 4月入居で5月頃より虫に刺さ れる 入居するまでは, 半年以上空き 家だった.	4	1 : 和室寝室 1F (畳) 日当たりよく湿度は普通 常時使用3.3㎡を3分吸引	コナヒョウヒダニ 7exs ホコリダニ科 4exs ハダニ科 1exs	イエササラダニ 5exs カザリヒワダニ 1exs	
			2 : 洋室 1F (敷物: 藤) 日当たりよく湿度は普通 常時使用1.5㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 24exs ホコリダニ科 4exs	イエササラダニ 2exs	
			3 : 洋室寝室 2F (敷物: カーペット) 日当たりよく湿度は普通 常時使用1.5㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs ホコリダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ 3exs	
			4 : 和室寝室 2F (畳) 日当たりよく湿度は普通 常時使用1.5㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 6exs ミナミツメダニ 6exs テングダニ科 4exs	イエササラダニ 42exs カザリヒワダニ 4exs	
7.22	築後60年 木造一戸建て 家族数5人 室外で犬を一匹飼っている. 両親と父娘に被害有り.	2	1 : 和室 (畳) 日当たり普通 湿度も普通 常時使用 1.6㎡を3分吸引	イエササラダニ 54exs ヤケヒョウヒダニ 47exs カザリヒワダニ 7exs 中気門亜目 2exs	ミナミツメダニ 19exs コナヒョウヒダニ 5exs ホコリダニ科 4exs 前気門亜目 1exs	
			2 : 洋室 (敷物: 絨毯) 日当たり普通 湿度は少ない 常時使用 1.6㎡を3分吸引	イエササラダニ 11exs ヤケヒョウヒダニ 75exs カザリヒワダニ 21exs	ミナミツメダニ 3exs コナヒョウヒダニ 6exs ホコリダニ科 18exs	
8.24	築後2年 木造一戸建て 家族数4人 室外で犬を一匹飼っている.	3	1 : 和室寝室 1F (畳) 日当たりよく湿度は少ない 常時使用 11.4㎡を20分吸引	ヤケヒョウヒダニ 21exs コナヒョウヒダニ 8exs ホコリダニ科 39exs	ミナミツメダニ 64exs イエササラダニ 14exs ミジンイレコダニ 1exs	
			2 : 和室寝室 1F (カーペット) 日当たりよく 湿度は少ない 常時使用 11.4㎡を20分吸引	ヤケヒョウヒダニ 17exs ケナガコナダニ 8exs カザリヒワダニ 3exs ホコリダニ科 74exs 中気門亜目 1exs	コナヒョウヒダニ 3exs ミナミツメダニ 7exs ミジンイレコダニ 49exs イエマルニクダニ 1exs	
			3 : 和室寝室 2F (畳) 日当たりよく 湿度は少ない 常時使用 9.4㎡を15分吸引	ヤケヒョウヒダニ 8exs ケナガコナダニ 1exs イエササラダニ 15exs 中気門亜目 1exs	コナヒョウヒダニ 1exs ミナミツメダニ 52exs ホコリダニ科 5exs	

採取年月日	依頼人の環境	件数	検体別概要	結果			
1994. 8. 24	築後1年 鉄骨集合住宅10F建 住居は4F 家族数1人 ベットはいない ダニによる身体的被害	2	1: 和室寝室(畳: 化繊) 日当たりよく湿度は多い 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 8exs ケナガコナダニ 12exs イエササラダニ 2exs	コナヒョウヒダニ 12exs ミナミツメダニ 16exs ニクダニ科 2exs		
			2: 和室寝室(寝具: 敷きフトン) 日当たりよく湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	コナヒョウヒダニ 10exs ミナミツメダニ 5exs	ケナガコナダニ 5exs		
8. 25	築後年数不明 鉄骨集合住宅12 階建 住居6階 家族数3人 小学生以下1人 ベットはいない。 押入の中の布団に夏になると小さく黒い虫がつく。時々刺されたように痒みを伴って赤くなる。 駆虫剤を使用するも駆除できない。	3	1: 和室寝室(押入の寝具) 日当たりなし 湿度不明 常時使用 1㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 1exs イエマルニクダニ 1exs	コナヒョウヒダニ 1exs イエササラダニ 1exs		
			2: 和室寝室(畳) 日当たりは普通 湿度は普通 常時使用 1㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 8exs イエマルニクダニ 2exs ホコリダニ科 2exs 中気門亜目 2exs	コナヒョウヒダニ 5exs イエササラダニ 22exs ヒポプス 4exs Chelacaropsis.sp 1exs		
			3: 和室居間(畳) 日当たりよく 湿度は普通 常時使用 1㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 1exs イエササラダニ 9exs	コナヒョウヒダニ 1exs ヒポプス 3exs		
8. 31	築後14年 木造一戸建て 家族数4人 室外で犬を一匹飼っている。 両腕を主体に全身に虫さされの様な跡がある。被害は申請者のみで、他の家族には殆ど見られない。	3	1: 和室客間(畳: 天然) 日当たりよく 湿度は少ない 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 8exs ミナミツメダニ 118exs カザリヒワダニ 39exs ツメダニ科 1exs	コナヒョウヒダニ 5exs イエササラダニ 17exs ホコリダニ科 39exs イレコダニ科 8exs		
			2: 洋室(敷物: い草のゴザ) 日当たりよく 湿度は少い 常時使用 2㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs ホコリダニ科 10exs 隠気門亜目 2exs	コナヒョウヒダニ 6exs ミナミツメダニ 1exs イエニクダニ 62exs		
			3: 和室寝室(畳: 天然) 日当たりよく 湿度は少ない 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 11exs イエマルニクダニ 3exs ホコリダニ科 10exs 中気門亜目 1exs マメタンツメダニ 2exs	コナヒョウヒダニ 25exs イエササラダニ 1exs カザリヒワダニ 4exs イエニクダニ 3exs オソイダニ科 1exs		
9. 1	築後25年 木造一戸建て 家族数1人 ベットはいない。 ダニに刺された。	3	1: 和室寝室1F (畳: 天然) 日当たり悪く 湿度は少ない 常時使用 1.0㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 12exs ミナミツメダニ 98exs ホコリダニ科 46exs 中気門亜目 10exs ハダニ科 2exs Chelacaropsis.sp 10exs	コナヒョウヒダニ 8exs イエササラダニ 12exs カザリヒワダニ 32exs イレコダニ科 10exs		
			2: 和室客間1F (畳: 天然) 日当たりよく 湿度少ない 殆ど使用しない 1.0㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 11exs ミナミツメダニ 110exs ホコリダニ科 195exs 中気門亜目 5exs ハダニ科 4exs Chelacaropsis.sp 20exs	コナヒョウヒダニ 5exs イエササラダニ 5exs カザリヒワダニ 15exs イレコダニ科 2exs		
			3: 洋室居間(敷物の下) 日当たりよく湿度は普通 常時使用 1.0㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs カザリヒワダニ 1exs ホコリダニ科 9exs	コナヒョウヒダニ 17exs イエササラダニ 2exs		
9. 5	築後4年 一戸建て住宅 家族数2人 ベットはいない。 虫に刺されて痒い。刺されたことに気付かず、痒くなってから、それだとわかる。	3	1: 洋室居間客間(ソファ) 日当たりよく湿度は普通 常時使用 1.0㎡を1分吸引	ヤケヒョウヒダニ 5exs ホコリダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ 89exs ツメダニ科 1exs		
			2: 洋室居間客間(カーペット) 日当たりよく湿度は普通 常時使用 0.8㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 29exs Chelacaropsis.sp 1exs	コナヒョウヒダニ 36exs		
			3: 和室寝室(畳: 天然) 日当たりよく 湿度は普通 常時使用 2.0㎡を1分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs ミナミツメダニ 19exs ホコリダニ科 2exs ニクダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ 32exs イエササラダニ 52exs イレコダニ科 1exs		

採取年月日	依頼人の環境	件数	検体別概要	結果	
1994. 9. 5	築後31年 木造一戸建て 家族数3人 ペットはいない。 8月上旬から両腕、両足を噛まれていつまでも、痒い、奥さんが一番被害が大きく、次いで御主人、子供には全く被害はない。寝室、家事室等の畳は相当古く、居間のカーベットの敷き詰めではないが、一度も取り除いて掃除した事はない。	3	1: 和室家事室 (畳: 天然) 日当たりよい 湿度は普通 時々使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 34exs サヤアシニクダニ 3exs イエササラダニ 5exs ブドウヒメハダニ 5exs フトゲヒメハダニ 1exs オソイダニ科 1exs Chelacaropsis.sp 1exs	コナヒョウヒダニ 35exs ホソツメダニ 1exs カザリヒワダニ 3exs ヤマハリクダニ 1exs ホコリダニ科 4exs 中気門亜目 1exs
			2: 和室寝室(畳: 天然) 日当たり普通 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 27exs サヤアシニクダニ 3exs イエササラダニ 1exs ブドウヒメハダニ 2exs イエマルニクダニ 1exs オソイダニ科 2exs Chelacaropsis.sp 1exs	コナヒョウヒダニ 19exs ミナミツメダニ 6exs カザリヒワダニ 1exs ヤマハリクダニ 3exs ホコリダニ科 2exs 中気門亜目 4exs
			3: 洋室居間(敷物: カーベットの) 日当たりよく湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 46exs イエマルニクダニ 18exs ブドウヒメハダニ 1exs	コナヒョウヒダニ 35exs ホソツメダニ 1exs
9. 12	築後30年 鉄骨集合住宅 5階建て 住居は3階 家族数1人 ペットはいない ダニらしきものに、刺される。	3	1: 和室寝室(畳: 化繊) 日当たりはよい 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 17exs チャノヒメハダニ 4exs イエササラダニ 90exs フトゲヒメハダニ 1exs ホコリダニ科 5exs	コナヒョウヒダニ 31exs ミナミツメダニ 46exs イエマルニクダニ 1exs ケナガコナダニ 1exs ヒボプス 2exs
			2: 和室寝室(寝具: 敷布団) 日当たりはよい 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs チャノヒメハダニ 2exs イエササラダニ 11exs 中気門亜目 1exs	コナヒョウヒダニ 4exs ミナミツメダニ 18exs ホコリダニ科 6exs
			3: 洋室食堂(敷物: 絨毯) 日当たりはよい 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 41exs イエマルニクダニ 2exs イエササラダニ 4exs カザリヒワダニ 3exs	コナヒョウヒダニ 35exs ブドウヒメハダニ 1exs ホコリダニ科 2exs 隠気門亜目 3exs
9. 13	築後32年 木造一戸建て 家族数2人 ペットはいない ダニに刺される。	3	1: 和室居間(敷物: ゴザ) 日当たりは悪い 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 8exs チャノヒメハダニ 1exs イエササラダニ 21exs ゴミウスケダニ 2exs ホコリダニ科 27exs	コナヒョウヒダニ 9exs ミナミツメダニ 51exs イエマルニクダニ 1exs イレコダニ科 2exs 中気門亜目 1exs
			2: 和室居間 (畳: 化繊) 日当たりは悪い 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 5exs シワダニ 2exs フトツメダニ 4exs イエマルニクダニ 8exs イエササラダニ 92exs オソイダニ科 1exs ホコリダニ科 89exs 中気門亜目 6exs Chelacaropsis.sp 2exs	コナヒョウヒダニ 8exs ミナミツメダニ 13exs ホソツメダニ 2exs チリニクダニ 1exs カザリヒワダニ 23exs イレコダニ科 1exs ヒメハダニ科 3exs
			3: 和室客間(敷物: ゴザ) 日当たりは悪い 湿度は普通 常時使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 28exs フトツメダニ 3exs イエササラダニ 4exs ホコリダニ科 23exs Chelacaropsis.sp 2exs	コナヒョウヒダニ 19exs ミナミツメダニ 5exs カザリヒワダニ 5exs 中気門亜目 1exs
10. 5	築後4年 一戸建て住宅 家族数2人 ペットは飼っていない。 虫さされで痒い。	3	1: 洋室居間客間(ソファ) 日当たりよく湿度は普通 常時使用 1.0㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 33exs ミナミツメダニ 1exs	コナヒョウヒダニ 35exs ホコリダニ科 4exs
			2: 洋室居間客間(カーベットの) 日当たりよく湿度は普通 常時使用 1.0㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs ミナミツメダニ 3exs	コナヒョウヒダニ 11exs ケナガコナダニ 2exs

採取年月日	依頼人の環境	件数	検体別概要	結果		
			3：和室寝室（畳：天然） 日当たりよく 湿度は普通 常時使用 2.0㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 13exs フトツメダニ 1exs イエササラダニ 19exs ホコリダニ科 1exs	コナヒョウヒダニ 24exs ミナミツメダニ 7exs ケナガコナダニ 1exs	
10.25	築後4年 鉄骨一戸建て 家族数4人 ペットはいない。 主訴は虫刺され及び痒み。	1	1：和室寝室客間 （畳：天然） 日当たりは良い 湿度は普通 時々使用 1.6㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 5exs ケナガコナダニ 2exs フトツメダニ 21exs イエニクダニ 3exs イエササラダニ 131exs オソイダニ科 12exs ホコリダニ科 27exs	コナヒョウヒダニ 10exs ミナミツメダニ 13exs ホソツメダニ 42exs サヤアシニクダニ 7exs カザリヒワダニ 67exs 中気門腫目 5exs	
11.22	築後4年 鉄骨集合住宅7階建 住居3階 家族数3人 ペットはいない 5月下旬から8月下旬迄夫が単 身で住んで居たため殆ど家を縮 め切った状態だった。8月下旬 頃ダニに一度に10カ所刺される ことがあった。	2	1：和室居間寝室 （畳：化繊） 日当たりよく 湿度普通 常時使用 1.8㎡を5分吸引  2：和室寝室（畳：化繊） 日当たりよく 湿度普通 常時使用 1.8㎡を5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 8exs ケナガコナダニ 1exs イエササラダニ 30exs ホコリダニ科 11exs  ヤケヒョウヒダニ 3exs イエササラダニ 60exs ホコリダニ科 14exs	コナヒョウヒダニ 2exs ミナミツメダニ 2exs カザリヒワダニ 17exs  コナヒョウヒダニ 3exs カザリヒワダニ 13exs 中気門腫目 1exs	
12.6	築後4年 一戸建て住宅 家族数2人 ペットはいない。	3	1：洋室居間客間（ソファ） 日当たりよく 湿度普通 常時使用 1.0㎡を1分吸引  2：洋室居間客間 （カーペット） 日当たりよく 湿度普通 常時使用 1.0㎡を1分吸引  3：洋室居間客間 （カーペット） 日当たりよく 湿度普通 常時使用 2.0㎡を1分吸引	ヤケヒョウヒダニ 15exs ホコリダニ科 1exs イエササラダニ 2exs  ヤケヒョウヒダニ 6exs ケナガコナダニ 1exs イエマルニクダニ 1exs ホコリダニ科 1exs  ヤケヒョウヒダニ 6exs ケナガコナダニ 2exs サヤアシニクダニ 1exs ホコリダニ科 7exs イエササラダニ 18exs	コナヒョウヒダニ 24exs ミナミツメダニ 2exs  コナヒョウヒダニ 8exs ミナミツメダニ 2exs カザリヒワダニ 1exs 隠気門腫目 1exs  コナヒョウヒダニ 7exs ミナミツメダニ 1exs カザリヒワダニ 3exs 中気門腫目 1exs	
1995. 1.17	依頼主の環境不明	1	1：居間の絨毯及び縁側の 米俵の隅	ヤケヒョウヒダニ 7exs ケナガコナダニ 4exs 不明 1exs	フトツメダニ 2exs アシナガツメダニ 2exs	



表8 衛生害虫検査概要（苦情相談以外）

検体別概要	結 果		検体別概要	結 果	
採取日：95. 1.31 和室居間（敷物：カーペット） 日当たりよく湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ホコリダニ科 2exs ヤケヒョウヒダニ 189exs 中気門亜目 1exs		採取日：95. 1.31 和室居間（敷物：カーペット） 日当たりよく湿度普通 常時使用 1.0㎡を2分吸引	イエササラダニ 4exs カザリヒワダニ 3exs テングダニ科 1exs	コナヒョウヒダニ20exs ホコリダニ科 4exs 中気門亜目 1exs
採取日：95. 2. 3 和室居間（敷物：カーペット） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を30秒吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs コナヒョウヒダニ 6exs		採取日：95. 2. 9 和室居間（敷物：畳：天然） 日当たりよい湿度多い 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 58exs イエニクダニ 1exs ツメダニ科 1exs	イエマルニクダニ 6exs ケナガコナダニ 1exs イレコダニ科 2exs
採取日：95. 2.14 和室居間（敷物：畳：天然） 日当たり普通湿度多い 時々使用 4.0㎡を5分吸引	ホコリダニ科 27exs イレコダニ科 1exs ケナガコナダニ 2exs	イエニクダニ 4exs 中気門亜目 1exs	採取日：95. 2.15 和室居間（敷物：畳：天然） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 11exs イエマルニクダニ 13exs イエササラダニ 6exs	コナヒョウヒダニ13exs ミナミツメダニ 2exs カザリヒワダニ 11exs
採取日：95. 2.16 和室客間（敷物：絨毯） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 19exs イエニクダニ 2exs コガタダニ 1exs ホコリダニ科 18exs	コナヒョウヒダニ 5exs イエマルニクダニ 1exs カザリヒワダニ 1exs イレコダニ科 5exs	採取日：95. 2.17 和室居間（敷物：ゴザ） 日当たり悪い湿度少ない 常時使用 1.6㎡を2分吸引	コナヒョウヒダニ 3exs ホコリダニ科 1exs	カザリヒワダニ 1exs イレコダニ科 1exs
採取日：95. 2.17 和室寝室（畳：天然） 日当たり普通湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 44exs ツメダニ科 2exs イエササラダニ 1exs ホコリダニ科 3exs カザリヒワダニ 7exs	イレコダニ科 4exs イエマルニクダニ 9exs	採取日：95. 2.17 和室居間（敷物：畳：天然） 日当たりよく湿度少ない 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 7exs シワダニ 1exs イエマルニクダニ 2exs ホコリダニ科 1exs イエササラダニ 5exs	コナヒョウヒダニ14exs フトツメダニ 1exs カザリヒワダニ 2exs テングダニ科 1exs
採取日：95. 2.17 和室寝室（畳） 日当たり普通湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	コナヒョウヒダニ 19exs カザリヒワダニ 1exs	ミナミツメダニ 1exs	採取日：95. 2.17 和室居間（敷物：絨毯） 日当たり、湿度は普通 常時使用 3.2㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 23exs	イレコダニ科 1exs
採取日：95. 2.17 和室寝室（畳） 日当たり普通湿度普通 常時使用 4.8㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 52exs ミナミツメダニ 2exs イエニクダニ 4exs ホコリダニ科 96exs イエササラダニ 20exs	コナヒョウヒダニ86exs フトツメダニ 1exs カザリヒワダニ 28exs イレコダニ科 16exs	採取日：95. 2.18 和室居間（敷物：ゴザ） 日当たり普通湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 18exs イエササラダニ 4exs	コナヒョウヒダニ 6exs
採取日：95. 2.20 和室居間（敷物：カーペット） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 3.2㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 7exs	ホソツメダニ 2exs	採取日：95. 2.20 和室居間（畳：天然） 日当たりよい湿度多い 時々使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 11exs イレコダニ科 2exs ホソツメダニ 1exs ホコリダニ科 3exs	コナヒョウヒダニ10exs イエマルニクダニ 4exs イエササラダニ 5exs
採取日：95. 2.22 洋室廊下（板床） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 90exs ケナガコナダニ 15exs 中気門亜目 2exs ホコリダニ科 10exs	コナヒョウヒダニ10exs イエニクダニ 10exs イエササラダニ 10exs	採取日：95. 2.22 和室居間（畳：天然） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 20exs ケナガコナダニ 3exs イレコダニ科 3exs ホコリダニ科 8exs	コナヒョウヒダニ13exs カザリヒワダニ 3exs イエササラダニ 10exs フトツメダニ 2exs
採取日：95. 2.22 和室寝室（畳） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を1.5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 19exs ホコリダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ11exs	採取日：95. 2.22 和室居間（畳） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を1.5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 26exs ケナガコナダニ 2exs イエササラダニ 3exs	コナヒョウヒダニ14exs イエマルニクダニ 3exs
採取日：95. 2.23 和室居間（敷物：カーペット） 日当たりよい湿度普通 常時使用 2.0㎡を1分吸引	ヤケヒョウヒダニ 19exs	ツメダニ科 1exs	採取日：95. 2.24 和室居間（敷物：カーペット） 日当たりよい湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs ホコリダニ科 4exs	コナヒョウヒダニ 2exs
採取日：95. 2.24 和室寝室（畳：天然） 日当たりよく湿度少ない 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs サヤアシニクダニ 2exs オソイダニ科 1exs ホコリダニ科 20exs	コナヒョウヒダニ13exs カザリヒワダニ 32exs イエササラダニ 21exs ホソツメダニ 1exs	採取日：95. 2.24 和室寝室（畳：天然） 日当たりよい湿度少ない 常時使用 2.4㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 56exs シワダニ 1exs マメタンツメダニ 3exs ホコリダニ科 5exs 中気門亜目 1exs	コナヒョウヒダニ78exs ケナガコナダニ 2exs イエマルニクダニ22exs ホソツメダニ 8exs
採取日：95. 2.24 和室客間（敷物：カーペット） 日当たり普通湿度普通 時々使用 1.6㎡を1分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs イエマルニクダニ 2exs ホコリダニ科 11exs	コナヒョウヒダニ 5exs カザリヒワダニ 1exs フトケヒメハダニ 1exs	採取日：95. 2.24 和室居間（敷物：カーペット） 日当たり普通湿度普通 常時使用 2.4㎡を2分吸引		ケナガコナダニ 1exs コナヒョウヒダニ13exs

検体別概要	結 果		検体別概要	結 果	
採取日：95. 2.24 和室居間寝室（畳：天然） 日当たりよい湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 8exs ツメダニ科 1exs ホコリダニ科 3exs	コナヒョウヒダニ18exs 中気門亜目 1exs	採取日：95. 2.24 和室居間（敷物：カーペット） 日当たりよい湿度普通 常時使用 1.6㎡を25秒吸引	ヤケヒョウヒダニ 18exs ツメダニ科 3exs ホコリダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ19exs イエマルニクダニ 5exs
採取日：95. 2.24 和室居間（畳） 日当たり普通湿度多い 常時使用 3.2㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 22exs ツメダニ科 2exs シワダニ科 4exs	コナヒョウヒダニ20exs イエマルニクダニ29exs	採取日：95. 2.27 和室（畳：天然） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 6.4㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 4exs イレコダニ科 2exs	カザリヒワダニ 2exs ケナガコナダニ 2exs
採取日：95. 2.27 和室寝室（畳） 日当たり悪い湿度不明 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 61exs ツメダニ科 2exs イエササラダニ 18exs ホコリダニ科 17exs	コナヒョウヒダニ41exs ケナガコナダニ 3exs カザリヒワダニ 20exs イレコダニ科 4exs	採取日：95. 2.27 和室客間（畳） 日当たりよい湿度少ない 時々使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 13exs ツメダニ科 2exs イエササラダニ 14exs ホコリダニ科 10exs テングダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ 8exs イエマルニクダニ22exs カザリヒワダニ 18exs イレコダニ科 10exs
採取日：95. 2.27 和室居間寝室（畳：天然） 日当たりよい湿度普通 常時使用 3.2㎡を2分吸引	コナヒョウヒダニ 9exs イレコダニ科 3exs	イエササラダニ 3exs	採取日：95. 2.27 和室客間（敷物：絨毯） 日当たりよい湿度普通 時々使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 24exs イレコダニ科 1exs イエササラダニ 16exs	コナヒョウヒダニ40exs イエマルニクダニ 4exs
採取日：95. 2.27 和室居間（敷物：絨毯） 日当たりよい湿度普通 時々使用 1.6㎡を2分吸引	コナヒョウヒダニ 17exs	カザリヒワダニ 1exs	採取日：95. 2.27 和室客間（畳：天然） 日当たり普通湿度普通 時々使用 1.6㎡を2分吸引	コナヒョウヒダニ 11exs イエササラダニ 3exs	カザリヒワダニ 3exs
採取日：95. 2.27 和室寝室（敷物：ゴザ） 日当たりよい湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 10exs ホコリダニ科 5exs イエササラダニ 1exs	コナヒョウヒダニ 7exs ミナミツメダニ 2exs	採取日：95. 2.27 和室居間（敷物：絨毯） 日当たりよい湿度普通 常時使用 2㎡を1.5分吸引	ヤケヒョウヒダニ 36exs ホコリダニ科 3exs ブドウヒメハダニ 1exs	コナヒョウヒダニ34exs ツメダニ科 2exs
採取日：95. 2.27 和室居間（畳） 日当たりよい湿度少ない 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 46exs ホソツメダニ 2exs イエササラダニ 21exs ホコリダニ科 25exs 隠気門亜目 1exs	コナヒョウヒダニ57exs ミナミツメダニ 3exs カザリヒワダニ 3exs オソイダニ科 1exs	採取日：95. 2.27 洋室食堂（板床） 日当たり悪い湿度多い 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 10exs	コナヒョウヒダニ 2exs
採取日：95. 2.28 和室寝室（敷物：カーペット） 日当たり悪い湿度多い 常時使用 3.2㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 36exs ホソツメダニ 5exs イエササラダニ 3exs	コナヒョウヒダニ32exs イエマルニクダニ 6exs 中気門亜目 1exs	採取日：95. 3. 1 和室寝室（畳） 日当たり普通湿度普通 常時使用 3.2㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 3exs ホコリダニ科 5exs	コナヒョウヒダニ 4exs
採取日：95. 3. 1 和室居間（畳） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 43exs ケナガコナダニ 14exs ツメダニ科 7exs ホコリダニ科 34exs 中気門亜目 1exs	コナヒョウヒダニ 3exs サヤアシニクダニ 2exs イエマルニクダニ17exs イレコダニ科 4exs	採取日：95. 3. 1 洋室寝室（敷物：カーペット） 日当たり普通湿度普通 常時使用 1.0㎡を1分吸引	ヤケヒョウヒダニ 9exs	コナヒョウヒダニ10exs
採取日：95. 3. 2 和室居間（敷物：ゴザ） 日当たりよい湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 14exs ホコリダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ46exs イエササラダニ 7exs	採取日：95. 3. 2 洋室食堂（敷物：カーペット） 日当たり普通湿度普通 常時使用 2.0㎡を1分吸引	ヤケヒョウヒダニ 56exs	コナヒョウヒダニ 8exs
採取日：95. 3. 2 和室客間（畳：天然） 日当たり悪い湿度普通 時々使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 27exs 中気門亜目 1exs カザリヒワダニ 1exs ホコリダニ科 7exs	コナヒョウヒダニ 5exs 隠気門亜目 1exs イエマルニクダニ10exs イレコダニ科 1exs	採取日：95. 3. 3 和室居間（敷物：絨毯） 日当たり悪い湿度普通 常時使用 1.6㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 9exs ホコリダニ科 3exs ツメダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ39exs イエマルニクダニ 6exs
採取日：95. 3. 3 洋室居間（敷物：カーペット） 日当たり普通湿度少ない 常時使用 ?㎡を2分吸引	ヤケヒョウヒダニ 44exs イエササラダニ 1exs	コナヒョウヒダニ63exs	採取日：95. 3. 4 和室居間（畳） 日当たり普通湿度普通 常時使用 1.6㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 6exs ホコリダニ科 2exs	コナヒョウヒダニ 9exs
採取日：95. 3. 4 洋室居間（敷物：カーペット） 日当たりよい湿度多い 時々使用 1.0㎡を3分吸引	ヤケヒョウヒダニ 12exs ケナガコナダニ 3exs シワダニ 1exs イエササラダニ 1exs 中気門亜目 1exs	コナヒョウヒダニ10exs サヤアシニクダニ 7exs イエマルニクダニ 8exs カザリヒワダニ 2exs ホソツメダニ 5exs			

### 3. ウイルス担当

平成6年度に実施した試験検査業務は、感染症サーベイランス事業のウイルス検査、伝染病予防法に基づくインフルエンザ、市民からの依頼によるHIV（エイズ）、風疹の血清抗体検査である。また平成4年度より調査研究として、福岡市民の各種ウイルス抗体調査を開始し、その3年目としてアデノ、風疹、インフルエンザの3項目について引き続き実施した。さらに市内の病院等からのウイルス分離同定検査依頼や、衛生局、環境局、水道局からの電子顕微鏡を用いる検査依頼にも対応した。各検査業務内容は以下のとおりである。

表1 ウイルス検査件数総括

区 分	依 頼 別		
	保健所	一般依頼	その他
インフルエンザ（集団発生）	40		
HIV抗体検査		1,660	
風疹抗体検査		240	
感染症サーベイランス事業検査			166
福岡市民の各種 ウイルス抗体 保有状況調査	アデノ		340
	風 疹		340
	インフルエンザ		340
電子顕微鏡検査	16		48
その他のウイルス検査			33
総 計	56	1,900	1,267

#### 1) HIV（エイズ）

昭和62年10月より保健所で受付した血清のHIV抗体検査を当所で実施している。今年度の件数は1,660件で昨年よりも減少した。平成5年9月よりHIV-2抗体の検査も併せてゼラチン凝集法（PA）にて開始している。

平成2年度からの年度別検査件数の推移を表2に示す

表2 福岡市におけるHIV検査件数の推移

年度	平成2年	3	4	5	6
件数	483	837	3,387	2,736	1,660

#### 2) 風 疹

昭和52年度より妊娠適齢期女性を対象とした風疹検査を保健所で受付後、当所でHI抗体を測定している。

平成6年度の当所における検査件数は240件で、前年度（487件）の約半数であった。

平成2年度からの年度別検査件数の推移を表3に示した。また平成6年度の年齢群別抗体検査結果の詳細は表4のとおりで、受検者の陰性率は21.7%（52/240）であった。

表3 福岡市における風疹検査件数の推移

年度	平成2年	3	4	5	6
件数	368	363	469	487	240

表4 年齢群別風疹HI抗体価

年齢群	H I 抗 体 価							
	<8	8	16	32	64	128	256	512≤ 計
<20	2			1				3
20~24	3	2		4	2			11
25~29	17	6	22	31	32	5	5	118
30~34	27	9	16	18	10	9	2	91
35~39	3		4	6	2	2		17
計	52	17	42	60	46	16	7	240

#### 3) インフルエンザ

平成7年1月の集団発生事例3施設14検体と、11月～3月にかけて搬入された散發事例（サーベイランス事業）患者61名65検体を対象に、ふ化鶏卵とMDCK細胞を用いてウイルス分離を行った。

その結果、集団発生事例よりA・H3型が6株、散發事例よりA・H3型17株、B型14株のインフルエンザウイルスが分離された。（詳細は事例報告に記載）

#### 4) 日本脳炎

平成6年度は当市における患者発生はなかった。

#### 5) つつがむし

平成6年度は当市における患者発生はなかった。

#### 6) 調査研究

福岡市民の各種ウイルス抗体保有状況調査（アデノ、風疹、インフルエンザ）

平成6年9月～10月に採血された、赤十字血液センターの240例、医師会検査センターの80例、福岡市こども病院・感染症センターの20例、計340例についてアデノ、風疹、インフルエンザの血清抗体調査を実施した。（詳細は調査研究に各ウイルス別に記載）

#### 7) 感染症サーベイランス事業

福岡県結核感染症サーベイランス事業のうち、福岡市分の検査を平成4年度より当所で実施している。平成6年度も5年度にひきつづき6病院7定点で同様に実施した。

本年度は表5のとおり患者143名から166検体が搬入された。分離されたウイルスの内訳を疾患別で見るとヘルパンギーナからコクサッキーA4型（CA4）1株・コクサッキーA10型（CA10）1株、無菌性髄膜炎から

表5 ウイルス検査 平成6年度 結核・感染症サーベイランス検査結果

臨床診断名 (患者数)	患者数	検体名	検体数	陰性数	月別ウイルス分離状況											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヘルパンギーナ	4	咽頭ぬぐい液	4	2	CA4/CA10											
		鼻空ぬぐい液	1	1												
手足口病	1	咽頭うがい液	1	1												
無菌性髄膜炎	30	咽頭ぬぐい液	1		E9											
		髄液	29	19	CB5	CB2/E18 (3)	CB2/E9/E18 (2)	E9								
		咽頭ぬぐい液	1		E9											
		ふん便	1		E18											
脳・脊髄炎	3	咽頭ぬぐい液	2	1												
		ふん便	1	1												
		髄液	2	2												
		肝(部検材料)	1	1												
		脳(部検材料)	1	1												
		腸内容(便)	1	1												
乳児嘔吐下痢症	6	ふん便	5	2	ROTA ROTA(2)											
		髄液	1	1												
感染性胃腸炎	11	咽頭ぬぐい液	1	1												
		ふん便	11	8	ROTA											
		血清	1	1	ROTA/SRV											
インフルエンザ様疾患	61	咽頭ぬぐい液	11	4	B											
		咽頭うがい液	50	24	Ad3											
		ふん便	1	1												
		髄液	2	2												
		血清	1	1												
陰部ヘルペス	14	陰部尿道	9	5	HSV2											
		頸管擦過物											HSV1	HSV2	HSV1	
		皮膚病巣	3	2	HSV2											
		包皮分泌物	1		HSV2											
		亀頭部皮疹	1													
		陰部尿道	1	1												
		頸管擦過物											HSV1			
その他の疾患	13	咽頭ぬぐい液	5	3	CB6											
		咽頭うがい液	5	4	CB5											
		髄液	1		CB2											
		ふん便	3	2	E9											
		腹水	1	1												
		胸水	1	1												
		心のう液	1		HSV1											
		心(部検材料)	1		HSV1											
		肺(部検材料)	1		HSV1											
		肝(部検材料)	1		HSV1											
		喀たん	1		HSV1											
合計	143		166	94	3	6	1	8	7	2	0	1	9	18	14	3

エコー9型(E9)4株・エコー18型(E18)6株, コクサッキーB2型(CB2)2株・コクサッキーB5型(CB5)1株, 脳・脊髄炎からインフルエンザB, 1株, 乳児おう吐下痢症からロタウイルス様粒子(ROTA)3株, 感染性胃腸炎からロタウイルス様粒子が2株, 小型球形ウイルス(SRV)が1株, インフルエンザ様疾患からA・H3, 17株・インフルエンザB, 14株・アデノ3型(Ad3)2株, 陰部ヘルペスから単純ヘルペス1型(HSV1)3株・単純ヘルペス2型(HSV2)4株である。またその他の疾患で不明発疹症よりCB6・E9が

各々1株, 夏カゼ症候群からCB5, 1株, 意識障害よりCB2が1株, 疾患名不明の検体からHSV1が6株である。

本年度のサーベイランス分離ウイルスを総括すると無菌性髄膜炎では昨年, E11のみだったが, 今年はE9・E18・CB2・CB5の4種類が分離された。またインフルエンザの大流行で患者61人から65検体が搬入され, 1月にAH3, 2月にB型が主に分離された。